

計画改定前に全ての現行施策のフォローアップを実施【栃木県佐野市】

佐野市国土強靱化地域計画の概要・今後の改定方針

- 「佐野市国土強靱化地域計画」は令和2年8月に策定され、地域計画は、基本理念として「協働で築く安全・安心な未来災害に強いまちづくり」を掲げており、市（行政）以外の主体も含めた関係者間の「協働」により「災害に強いまち」が出来上がることを目指している。
- 地域計画は行政経営の総合的な指針である「第2次佐野市総合計画」との整合・調和も図りつつ策定され、計画期間は総合計画（基本構想）と同じ令和11年度までとしている。
- また、地域計画に記載された各施策分野については、毎年度策定するアクションプランにおいて、実施する事業を推進方針別に整理し、それぞれの事業名、事業概要等を記載し、公表している。
- 市では、地域計画の脆弱性評価の前提となる被害想定の見直しを令和5年度に予定しており、それに合わせて地域計画の対象期間や大枠は維持しつつ、社会情勢の変化等を反映した計画改定を、現行計画の期間途中であるものの令和5年度に行う方針とした。
- そのため地域計画の実効性確保・内容充実に向けた現行計画の検証を令和4年度に行った。

現行地域計画の検証（令和4年度）

現行計画の検証は、次の1. から4. までの手順で行い、計画改定に向けて考慮すべき改善点を確認した。

1. 地域計画担当部署による自己点検

- 現行計画の検証に際して、まずは地域計画担当部署による自己点検を行った。
- 自己点検は、これまで担当職員が現行計画について課題ととらえていた点を整理することにより行った。

<自己点検結果>

○現行計画は、脆弱性評価に対応する施策（推進方針をいう。以下同じ。）が概ね網羅的に記載されている一方、その進捗管理については、KPIによる管理以外の実際の実組状況までを丁寧にフォローアップすることができていない上、現行計画には取組主体（庁内担当課含む。）が明確ではない、達成水準が必ずしも明確ではないといった施策が存在するほか、施策の内容があくまで方針に留まり、具体的な事業に結びつかず、毎年策定するアクションプランにも事業が記載されないものもある。

○特に、庁内の複数部署が関係する、または市（行政）以外の主体が関係する施策について、各取組主体間による協働のための協議・調整が行われず、この傾向が大きい状況となっている。

2. 自己点検結果を踏まえた改善点の中間検証

- 自己点検結果を踏まえ、地域計画担当部署では現行計画について「全ての施策の実施状況をフォローアップすること」、「現状、事業が伴っていない施策の今後の実施方針を明確化すること」を特に解決すべき改善点として、地域計画担当部署と各施策担当課との間で、全施策の実施状況の中間検証を実施することとした。
- 検証の取組としては、地域計画担当部署から全庁に呼びかけを行い、後述する「振り返りシート」と「施策管理シート」を用いて、各施策の実施状況や（関係）主体・今後の実施内容・令和11年度末での達成水準等の整理・明確化を行うこととした。

3. 振り返りシートの作成

- 「現行地域計画に記載された施策の意図や実施状況を今一度検証し自覚する」機会を設けるために、各施策担当課において施策単位で現行計画の計画期間末における達成水準やそれに向けての取組内容、課題を「振り返りシート」に記入することとした。
- なお、本シートへの記入は過去の取組状況の是非を問うものではなく、自省の上で、今後の建設的な検討を行うためのものとするために、選択式形式ではなく記述式の様式とした。

(振り返りシート)

施策分野	施策項目	施策テーマ	脆弱性の評価	施策推進方針	担当課
					記入例
C 保健医療・福祉・教育	(1) 保健医療	④ 感染症予防対策	河川の氾濫等により浸水した家屋等について、必要に応じて消毒を実施する必要があります。	河川の氾濫等により浸水した家屋等について、健康被害等を考慮しながら、関係機関と連携し必要に応じて消毒を実施します。	環境政策課

令和4年度の実施状況	来年度（R5）の実施予定事項	R11時点の達成水準	取組を推進する上での課題
例① ○○小学校耐震工事 例② ●●●●と調整しXXXXに関する受援計画（素案）を作成 例③ 主要な医療機関の備蓄状況の把握	例① XX中学校耐震工事 例② XXXXに関する受援計画の策定完了 例③ 医療機関の備蓄状況を踏まえたXXXX及びYYYYの検討	例① 市内全小中学校の耐震工事が完了 例② 受援計画に基づく年〇回の訓練実施、受援体制と各課の担当事務が明確に認識されている状況 例③ 市内の医療機関にて必要な備蓄が確保されている状況	例① ▲▲▲小学校の耐震工事について、周辺の土地区画整理事業の予定や進捗等に応じた工程作成・管理が必要。 例② 複数の課が関連するため、庁内調整が遅延する可能性。定期異動により認識が薄れていく恐れあり。 例③ 対策の主体は医療機関となるため、費用面も含めた丁寧な支援や継続的な関与が必要。
実施無し	—	—	庁内の関係課間で施策の役割分担ができておらず、実施主体が不明瞭である。

例として、「災害時における被災家屋の消毒」の施策担当課による振り返りシートの作成状況を示す。
令和4年度の実施状況が「実施無し」となっており、地域計画に当該施策が位置付けられているものの、現在は施策が進んでいないことが判明した。課題として、当該施策にはさまざまな部署が関係しうるが、庁内の関係課間で役割分担ができていないことが挙げられた。

<各記載欄の内容>

- ① 「令和4年度の実施状況」、「来年度(R5)の実施予定事項」欄
…具体の事業等を記載することにより現状の実施状況を把握
- ② 「R11時点の達成水準」欄
…地域計画に記載されている施策（推進方針）が、現行計画期間末に具体的にどのような状況になっていることを予定しているかを記載
- ③ 「取組を推進する上での課題」
…施策の達成に当たって将来的なものも含め支障となる課題を記載

4. 施策管理シートの作成

- 振り返りシートの作成を通じて、現行地域計画の記載を改めて確認した各施策担当課では、振り返りシートから更に発展させた各施策の内容を記載する施策管理シートを担当課長の責任の下で作成することとした。
- 施策管理シートは、次の点を重視した上でその様式を作成している。
- 地域計画に記載された各施策について「誰が」、「どこで」、「いつまでに」、「何を」実施するかを具体化することを念頭に、現行地域計画の計画期間末までの達成水準を確保するために必要な各年度のそれぞれの関係主体（庁内関係課・（必要に応じ）庁外関係者）の取組内容などを計画的に記載する。
- 今後の施策の進捗状況を毎年度管理していくため、成果指標（KPI）の設定だけでなく、KPIで表せない取組実績の記入欄を設ける。
- 各施策担当課で記載された施策管理シートは、地域計画担当部署での確認により、記載上の不足点等の修正を行うとともに、必要に応じてヒアリングを行った。
- なお、複数担当課で共管の施策については、始めに課毎に作成した上で、関係する担当課間で十分な協力・協議を通じて施策単位の統合することとした。
※複数担当課で共管の施策において、担当課間での調整が付きにくい事項については、地域計画担当部署も打ち合わせに参画することにより調整を行った。

(施策管理シート)

長野市国土強靱化地域計画(2021-25) 施策管理シート										
施策No.	施策分野	施策内容	実施年度	実施主体	実施期間	実施予算	実施効果	実施評価	実施状況	
11-1	災害対策	〇 避難所、被災者等の生活支援を目的、市域全域を対象とした、早期から避難所申請対応に取組みます。								
11-2	災害対策	〇 市域全域を対象とした避難所について、保護避難所を推進し、早期から避難所申請対応に必要に応じて対応を実施します。								
11-3	災害対策	〇 市域全域を対象とした避難所について必要に応じて早期から避難所申請対応による避難所確保を実施します。								
● 施策の達成状況										
年度	実施主体	取組内容	各年度の具体的な取組内容			各年度の取組実績				
			達成状況	成果指標	進捗	実績	達成率	課題	備考	
2021年度	市	市内で避難所が不足しているため、避難所を確保し、早期から避難所申請対応に取組みます。	避難所の早期確保が図れる。			早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。
2022年度	市	避難所における避難所申請対応を実施し、早期から避難所申請対応に必要に応じて対応を実施します。	避難所における避難所申請対応が図れる。			早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。
2023年度	市	避難所における避難所申請対応を実施し、早期から避難所申請対応に必要に応じて対応を実施します。	避難所における避難所申請対応が図れる。			早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。
2024年度	市	避難所における避難所申請対応を実施し、早期から避難所申請対応に必要に応じて対応を実施します。	避難所における避難所申請対応が図れる。			早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。
2025年度	市	避難所における避難所申請対応を実施し、早期から避難所申請対応に必要に応じて対応を実施します。	避難所における避難所申請対応が図れる。			早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。	早期からの避難所確保が図れる。

振り返りシートと同様、例として、「災害時における被災家屋の消毒」の施策担当課による施策管理シートの作成状況を示す。

- ①「主体」欄：市、清掃事業者などが記載されており、庁外関係者を含め主体が明確になっている。なお、欄としては「市」と一括りにしているが、本シート作成過程において、主たる担当課を明確に定めた上、関係する課の洗い出しを行うなど、市内の主体の整理も行った。
- ②「取組内容」欄：関係課の打合せにより主担当課を明確にする、床下消毒が可能な清掃事業者を選定し一日当たりの処理件数を把握するなどが記載されており、主体毎に各年度における具体的な実施事項が明確になっている。
- ③「成果指標」欄：成果指標を設定することにより、各年度の施策の進捗状況を把握する。
- ④「実績」「事務事業名」「課題」欄：各年度末または年度当初に、当該年度の実施結果の振り返りを記載する。

振り返りシートと同様、例として、「災害時における被災家屋の消毒」の施策担当課による施策管理シートの作成状況を示す。

- ①「主体」欄：市、清掃事業者などが記載されており、庁外関係者を含め主体が明確になっている。なお、欄としては「市」と一括りにしているが、本シート作成過程において、主たる担当課を明確に定めた上、関係する課の洗い出しを行うなど、市内の主体の整理も行った。
- ②「取組内容」欄：関係課の打合せにより主担当課を明確にする、床下消毒が可能な清掃事業者を選定し一日当たりの処理件数を把握するなどが記載されており、主体毎に各年度における具体的な実施事項が明確になっている。
- ③「成果指標」欄：成果指標を設定することにより、各年度の施策の進捗状況を把握する。
- ④「実績」「事務事業名」「課題」欄：各年度末または年度当初に、当該年度の実施結果の振り返りを記載する。

(施策担当課との打ち合わせ)



5. 検証結果

- 振り返りシート、施策管理シートの作成、地域計画担当部署によるヒアリング、庁内担当課間での調整などを通じ、各庁内担当課がその取組状況を改めて見つめ直すことにより、施策内容の定義が曖昧な施策、地域計画に記載されながらも順調な進捗となっていない施策、具体的な事業が検討できていない施策、関係主体との役割分担・進捗状況の相互確認が不十分な施策やそもそも関係する主体が十分に検討できていない施策などがあることが判明した。
- 本年度に判明した点は改善を図り、各施策は役割分担やスケジュール感を持って施策を推進していくこととした。

取組の成果

- 市では、令和5年度の地域計画改定に先立ち、現行計画に記載の全施策の取組状況をきめ細かく確認し、今後の実施方針を明確化することを通じて、現行計画の改善点を検証した。
- 本検証結果を踏まえ、市長以下、全職員共通理解のもと、令和5年度に実施する地域計画の改定作業においては、計画の実効性確保・内容充実の観点から、地域計画の各施策の実施主体の明確化や、内容や目標が曖昧な施策（「…することを検討する」等）についての達成水準の具体化を図るなど、市が目指す地域の強靱化の姿を、市民や市内企業等に対してわかりやすく発信できるよう方向性を確認した。